

【MACF 礼拝説教要旨】

2025年1月5日

【祈り合う人生】

エフェソの信徒への手紙 1章

15 こういうわけで、わたしも、あなたがたが主イエスを信じ、すべての聖なる者たちを愛していることを聞き、

16 祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。

17 どうか、わたしたちの主イエス・キリストの神、栄光の源である御父が、あなたがたに知恵と啓示との靈を与え、神を深く知ることができるようにして、 18 心の目を開いてくださるように。そして、神の招きによってどのような希望が与えられているか、聖なる者たちの受け継ぐものがどれほど豊かな栄光に輝いているか悟らせてくださいるように。

19 また、わたしたち信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力が、どれほど大きなものであるか、悟らせてくださいように。

* * * *

エフェソの人たちに対するパウロの祈りの中に、私たちが互いに祈り合う意義と意味とを学びたいと思います。

1) 相手に対する感謝

16 祈りの度に、あなたがたのことを思い起こし、絶えず感謝しています。

誰かのために祈る時、「神様、あの人の命と存在を感謝します」という心を意識することはとても大切です。大切なあの人のために祈りますという意識が相手と一緒に神様の前に立っているような気持ちにさせてくれるからです。

「祈ってあげている」というのとは違うのです。共に神の前に立っているという自覚が育ちます。それはそのまま交わりの中に大いに反映されます。

2) 神様をより深く知ることができるように

あなたがたに知恵と啓示との靈を与え、神を深く知ることができるようにして、 18 心の目を開いてくださるように。

あの人がある品物を手にいれるということではなく、むしろ、神様をより深く知ることができるよう、という祈りがなされていますが、これはそのまま自分にとっての祈りとしても大切ですね。

そのための知恵と啓示の靈、心の目が開かれるという「気づき」「感じ取り」が豊かに経験できますように。

3) 希望と大きな祝福があることに気づくように

神の招きによってどのような希望が与えられているか
祈りながら、神様に聞かれており、神様のもとにあるいのちにつながることで
もたらされる希望に気付けるように。そこお方と関わりをもつことによって広がる世
界がとてもなく「広大で永遠的な」ものであるかを感じ取れるように。

4)神の力の大きさを知る

信仰者に対して絶大な働きをなさる神の力
無から有を生じさせ、絶望の中に希望を生み出す力をもつ神様に祈り
つながることで、私たちの生活は活力にあふれ、絶望から守られ、神様に
よる最善がもたらされることを信じて生きられたら嬉しいですね。

5)個人の消息についての祈り

ヨハネの手紙第三には長老から個人宛に愛のこもった願いが祈られています。
パウロの祈りに合わせて、この部分もしっかり心に留めて「愛の行動としての祈り」
を身につけたいと思います。
①長老のわたしから、愛するガイオへ。わたしは、あなたを真に愛しています。
②愛する者よ、あなたの魂が恵まれているように、あなたがすべての面で恵まれ、健
康であるようにと祈っています。

祈りについての「最大の問題は私たちが実際に「信じて祈る」かどうかです。
祈りをいくら学んでも祈らなければ実りはありません。
祈るという意識、祈るための時間、歩きながらでも、目を開けてでも
祈ることができたらきっと何かが変わります。

今年もどうぞよろしくお願ひします。

MACF 礼拝映像はこちらです。
聖餐式の部分もつけてありますのでご自宅でどうぞ！

* * *

<https://youtu.be/MCUn8-gXDWw>